

なばり

2014年(平成26年) 2月2日発行

主な内容

- 1・2……ペットと暮らす住みよいまち
- 3……在宅医療公開講座、再生品家具の販売
- 4……上級救命講習会の受講者募集、防災講演会を開催

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

犬のフン問題！地域全体で解決

ペットと暮らす 住みよいまち

飼い主にとっては安らぎを与えてくれる存在のペットも、マナーを守らなければ、周囲の人に迷惑をかけることになります。

犬や猫の「フン放置」もトラブルの一つ。今号では、なかなか改善できないその課題を住民全体で解決しようと取り組んでいる地域を紹介します。

☎ 環境対策室 ☎ 63-7492



ペットも家族、社会の一員です。ペット通じて、住民同士のコミュニケーションも広がる。



難しいマナーの課題に挑戦

「犬のフンゼロ運動」カードを携帯 見える形で啓発

こびき
会長 小引 福夫 さん

つつじが丘・春日丘自治協議会

マナーの課題を 地域ビジョンに組み込む

「歩道や公園に犬のフンが放置されて困る」。地域の将来像を考える地域ビジョン作成のために住民アンケートを実施すると、犬のフン放置のことで困っている人がとても多かったです。
飼い主のマナーの問題で、わざわざ取り上げなくてもという意見もありましたが、これだけ多くの人が問題に上げている以上、地域全体で解決していかなければならないと思えました。

この地域の中だけでも、犬のフンが放置されていないきれいなまちにしよう、地域ビジョンには、「生活環境・マナーを推進するまちづくり」として、「ペットの糞公害のないペットを愛するまちづくり」という実施計画を立てました。

地域全体で フンゼロ運動を始動

つつじが丘北2番町では、愛犬家の調査をしたり、犬のフンのないきれいな公園にしようとして子どもたちに啓発ポスターを書いてもらい公園内に掲示するなど、以前よりフン放置の問題に独自で取り組み、効果を上げていました。この取組みを提案して、実施したという、北2番町に住む平井行夫さんを地域ビジョングループリーダーとし、フンゼロ運動を立ち上げました。つつじが丘にある18の自治会すべての家に、犬を飼っているかの愛犬家調査を実施。結果、住宅戸数3564戸のうち約2割のお宅で、825頭の犬がいることが分かりました。
その後、愛犬家に集まってもらい会議を開催しました。自治会ごとに、自分が愛犬家であり、犬のフンは持ち帰ることを記した「犬のフンゼロ運動実施中」というカードを作成し、犬を飼っている全世帯に配布しました。飼い主には、犬の散歩時に必ずフンを処理する袋やスコップなどが入った散歩か



飼い主は犬の散歩時には、犬のフンゼロ運動のカードを携帯している。

将来的には 犬専用広場の計画も

モラルや規制ばかりでは疲れます。楽しい要素もまちづくりには必要です。地域ビジョンの実施計画の中には、犬専用広場(ドッグラン)の整備も検討しています。広場では、犬を通じて住民同士のコミュニケーションも生まれます。ペットも家族、そして社会の一員ですから、皆がマナーを守る住みよいまちにしていきたいです。

2ページに続く